

さんだ 皆さんと議会をつなぐ 市議会だより

Vol.101 / 平成 22 (2010) 年 5 月 (5 月・8 月・11 月・2 月発行)

三田市議会
議会報編集委員会

TEL 079-559-5162

FAX 079-564-2992

メール gikai_u@city.sanda.lg.jp

ホームページ <http://www.city.sanda.lg.jp/>

三田市携帯サイト



三田市議会

検索

詳しくはWebで!

かよ
いあ
うこ
ころ。

平成 22 年度予算を可決
未来に夢を描ける
子育てしやすい三田へ (2 面)

市民の皆さんの疑問
議員が質問します (4 面)

いい季節になりました
人のつながり、深めませんか
(青野ダム・小野公園)

インターネットで三田市議会を見よう!

三田市議会では、議会をできるだけ多くの方々にご覧いただけるよう、インターネット録画中継を 5 月 1 日から導入しました (3 月定例会の内容)。三田市ホームページから好きな時間に議会の議論を見ることが出来ます。

また、6 月定例会からは、議会のあった日の約 10 日後から議会の録画を配信します。

少しでも議会を聞きやすく…

本会議を傍聴に来られた補聴器をつけている方から、「議論が聞き取りにくい」とのアンケートを事務局にいただきました。そこで、補聴器などをつけている方に議会の議論を聞こえやすくするための機器 (磁気誘導ループ) を、ボランティアグループのご協力をいただき、議会本会議のある日にお借りして傍聴席に設置できることになりました。
(磁気誘導ループのしくみは 6 面)



議会を身近に

このほか、会議録 (冊子・インターネット)、声の議会だよりなどをご用意しています。議会はみなさんの代表が議論する場所です。三田市で何が問題になっているのか? ぜひ、さまざまな方法で議会を身近に感じてみてください。

議会 トピックス PICS (6 面)

- ・ 政務調査費の結果がまとまりました
- ・ 磁気誘導ループってなに?
- ・ 開かれた議会へ、議会改革検討委員会
- ・ がんばってます。まちづくり基本条例委員会 ほか

平成 22 年 3 月定例会

2 月 28 日から 3 月 26 日までの 32 日間の会期で開きました。期間中の本会議は 5 日間、委員会は 10 日間、92 人の方に傍聴していただきました。

基本の施策



- ①市民のみなさんが主役のまちづくり
まちづくり基本条例の検討 280万円
自治会への加入促進事業 30万円 など
- ②責任ある改革
行財政改革の推進
市税のコンビニ収納の導入4,000万円 など



市民生活重視とされた予算ですが、市民の皆さんのくらしに届くのか、議長をのぞく23人の議員が市長（左）に聞きました。

特集

新年度予算にたくす 三田の未来

景気回復も定かでない、環境問題や少子高齢化など多くの問題をかかえる日本。でも、だからこそ、現実をしっかりとらえ、すすんで行動する三田市でありたい。とりわけ、家族や地域のきずなが弱くなっている今、「共に生き、共に支え合い、共に歩む」人が中心のまち三田をつくりたい…。こんな願いをこめた平成22年度予算が、市長から議会（3月定例会）に提案されました。



議員がきく

Q コンビニで市税の支払いができる「コンビニ収納」。便利になっていいのですが、4,000万円をかけるだけの効果があるのでしょうか？

A 他市の状況を見ると、コンビニ収納は金融機関が閉まっている時間帯の利用が64%に達しています。時間がない方への利便性が高まることで、市役所から督促する件数も減り、経費節減につながります。特にコンビニは全国にあるので、転出された方の収納率が高まります。



未来につなぐ三田

子育て・教育

地域子育て創生事業（夜間・休日の子育て相談、子育て情報ひろば設置など）	2,610万円
認可外保育施設の支援	320万円
子ども手当（子ども1人月13,000円）	21億4,500万円
妊婦健診の助成（14回の健診に7万円を上限に助成）	5,200万円
子ども学力調査（全国学力テストの全児童実施）	320万円 など

議員がきく

Q 乳幼児健診を受けていない子どもの数はつかんでいますか？また、未受診の子どもへの対応について、虐待防止の観点から対応は考えていますか？

A 乳幼児健診は、4か月、9か月、1歳6か月、3歳の4回行っていきます。平成20年度では、対象者3100人のうち、未受診の子どもは500人でした。この子どもたちの家庭には、市の保健師が家庭を訪問し、必要であれば支援します。また、新年度から休日や夜間にも子育て相談窓口を開設するなど、こども課の子育て支援体制をさらに充実します。

議員がきく

Q 子ども学力調査について、国が全国学力調査を抽出制にしたのに、どうして三田市では全児童を対象に調査するのですか？結果の利用方法は？

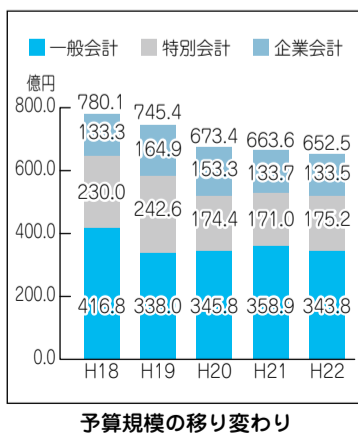
A 抽出制では、小学校は11%、中学校は15%の児童・生徒でしか調査が行えません。全国学力調査は生徒・児童の学力の状況をよく判断できるため、三田市では対象学年の全員の調査を行いたいと考えています。調査結果をもとに、各学校ごとの課題や問題点を洗い出し、学校ごとに学力向上改善プランを作成。授業内容の改善を図ります。

平成22年度の

三田市予算

市民生活重視の積極型

22年度の三田市の一般会計、特別会計、企業会計予算の合計は、652億5千万円で、前年度と比べ、1.7%減少しています。しかし、特別な要因をのぞくと2.3%の増額となります。市民のみなさんの生活に関係するところでも多くの事業が組まれていることが22年度予算の特徴になっています。



収入(市税)は減り、貯金も取り崩し

しかし、今年度は急激な景気悪化の影響を受け、個人所得の減少が見込まれています。市税は前年度予算と比べ3%（5.1億円）も減収の予算となっています。そのため、市の貯金（財政調整基金）を6億9千万円取り崩すことになっています。

創意工夫で財源を

景気回復が見えないなか、さらに収入が落ち込むことも予想されます。三田市では、行財政改革を行うことで、財源を生み出しています。22年度予算では、職員の数減らしたり、事務を見直したりすることで、1億6千9百万円を削り、予算として使っています。なお、20年度から22年度の3年間で、12億円の財源を行財政改革により生み出しています。

うるおいとやすらぎ…

環境にやさしい三田

環境

ごみ減量化・資源化計画の実施	240万円
全市域の古紙回収	1,380万円
資源ごみ集団回収運動の支援	3,630万円
公園照明のLED化	910万円
景観形成の取組み	450万円 など



議員がきく

Q ごみ収集について、古紙回収業務をシルバー人材センターへ随意契約で委託したり、市直営ごみ収集について1車あたり3人体制で行ったりするなど、コスト意識が低いと思います。

A シルバー人材センターに古紙回収をお願いしているのは、高齢者雇用のための福祉施策です。また、ごみ収集を委託して行っている地域と違って、市直営でごみ収集を行っている地域は、郡部や市街地など道が狭く安全確保の人員が必要な地域です。そのため3人体制としています。

助け合い・支え合い…

安心のまち三田

安心・安全

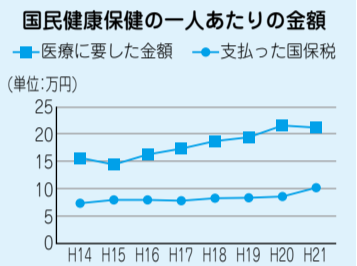
市民病院の経営支援	17億 8,300万円
地域ふれあい活動の推進(小野・高平地域の地域福祉支援室など)	4,260万円
国民健康保険会計の健全化	1億 6,800万円
予防接種を充実(ヒブ・肺炎球菌ワクチン)	350万円
消防東分署(市北東部の救急体制を強化)	2億 540万円 など



議員がきく

Q 三田市の国民健康保険会計は危機的状況にあります。新年度から4年間、一般会計から支援して、市民負担を増やさないことは大変評価しています。しかし将来、国民健康保険会計をどのように改善しようと考えていますか？

A 国民健康保険の加入者は、高齢者と低所得者が多く、国保制度自体に赤字になる要因があります。本来であれば、公平な医療や介護が受けられるよう、社会保障は国が担当すべきです。今後は県単位で国民健康保険をまとめる方向が望ましいと考えています。



議員がきく

Q 市民病院のスタッフが増えてきつつあるとはいえ、まだまだ医師や看護師不足により人工透析や病棟など患者さんにとって不便です。新年度の見通しは？

A 市民病院の医療の向上や経営安定のためには、医師・看護師を充実しなければなりません。さいわい医師は市民病院はじめて以来最高の50名を確保することができ、看護師も看護学校との提携で、確保できる見通しです。また、今年の4月から新たに5名の医師を確保できました。

まちの魅力アップ…

もっと好きになる三田

まちのPR

観光案内所(総合案内所)の移転	2,380万円
三田市のPR映像を作成	620万円
川本幸民生誕200年事業	500万円 など



駅前駐車場1階から、JR三田駅前デッキ(写真)上へ観光案内所が移転!

議員がきく

Q 三田が生んだ日本の化学の始祖、川本幸民。今年は生誕200年にあたります。三田の魅力とふるさと意識を高めるためには絶好の機会です。川本幸民はビールを日本ではじめてつくった人物ですので、地ビールをつくり、三田をPRしては？

A 企業に働きかけた結果、1社に手をあげていただき、「幸民ビール」をつくってもらえることになりました。22年度は試飲会などをして三田市のPRに大いに役立てていきたいと考えています。

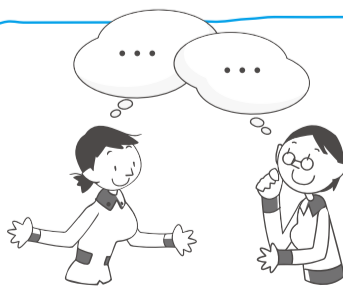
(川本幸民については、5面の用語解説参照)

22年度予算、議論の結果は？

平成22年度予算案は、予算特別委員会で審査したあと、3月定例会最終日(3月26日)において議論しました。3人の議員から、予算案の福祉・雇用対策が不十分であるとして、市長に予算案を組み替えるよう求める議案が提出されました。そのあと、表決した結果、予算の組替えを求める議案は否決、22年度一般会計予算、後期高齢者医療保険事業会計予算は賛成多数で、その他の予算7件については全員の賛成で可決しました。

反対

国民健康保険会計に一般会計からお金を繰り入れて、保険料の値上げをしないことや、ヒブワクチンの接種補助などが計上されていることは評価します。しかし、4千万円を投資する「コンビニ収納」は十分な効果が期待できません。小学生・中学生の全国学力調査についても国が抽出制に変更しています。学力調査の費用を教育の充実に使っていくべきです。



賛成

市の厳しい財政環境の中、行財政改革や基金の取り崩しなどで工夫して財源を生み出し、財政の健全化と市民生活を重視した「きめ細やかな施策」を打ち出されていることは大変評価します。22年度予算は前年度と比べ減額となっているものの、特別要因を除けば、「元氣な三田」に向けた施策重視の積極型の予算であり、景気が落ち込み市民生活が厳しいときの的確な予算です。

誇れる「まち」

みんなが活躍する三田

まちづくり(自治)基本条例

◎市民検討会議、議会、市役所行政の三者で条例の議論をしていますが、理念の違いをどう調整しますか。また、職員にどのようなこの条例を根付かせていきますか？

A 市民、議会、行政がそれぞれ考えて検討することが必要であり、さらに三者による議論を通じて、条例をつくりあげる過程と結果こそが重要です。率直に意見を交換し、あるべき条例の姿を見いだしていく必要があります。

また、条例の実効性を高めるには、まず、市役所のすべての職員が条例の内容を十分に理解することが必要です。市役所行政としての条例検討では、職員から広く意見を聞くこととしていきます。

※市民のみなさんの自治に基づくまちづくりの原則・しくみを定める条例のこと。

みなさんが望む

コミュニティバスには？

◎路線バスが不便な地域があり、地域のみなさんの生活に便利なコミュニティバスを走らせることが望まれています。しかし、コミュニティバスを導入には、みなさんの生活や公共交通への要望を十分に調べる必要があります。こうした取組みはしていますか？

A 市民のみなさんの生活交通のあり方を話し合う検討委員会では、現在の路線バスの問題や高齢の方の自動車運転の現状など、幅広く議論しています。

そのなかで、みなさんの平日の外目的や今の公共交通の利便性について、アンケートを実施しました。その結果をもとに市の財政負担などを考えながら、地域のみなさんと事業者との協働による新しい生活交通をつくる仕組みづくりに取り組んでいきます。

※地域に密着し、地域の利便性向上を目的にしたバス。公共交通の空白地などを運行する形態が典型的。



自治会が運行するコミュニティバス(丹波市鴨庄自治会)

三田の農業に夢を！

◎農業の現状が苦しい今、市の農業施策は農業者の立場に立ち、農業に「夢」を与えることができるようにするべきです。市長はどのように考えていますか？

A 三田市農業の状況は、「農業者の世代交代、農地の保全、食の安全安心」など、課題が山積みです。しかし、三田の農業を守り、活かすには地産地消をさらに拡大することが重要です。そのためJA兵庫六甲・兵庫県と「農業戦略会議」を立ち上げました。今年度には、就農を希望する方への支援を実施する予定です。また、身近な取組みとして、「三田米」の消費拡大のため、ロコモークの製作や米粉の活用などを進めます。

※地元で採れた農産物を地元で消費するについて。

議員の質問

議員は、議会の本会議で、市政についての疑問点や将来の方針を幅広く質問します。

3月定例会では、10人の議員が質問にたちました。

住み続けたい「まち」

三田市の未来像は？

◎ニュータウンがある都市の宿命である急速な高齢化・少子化。どのように活力ある三田を維持していきますか？

A 高齢化がすすむことで、暮らしやすさを求めて人口が都心回帰しています。しかし、三田市でも、ずっと三田に住み続けていただくこと、そして新たに三田に移り住んでいただくための施策を積極的に進めなくてはなりません。

いわゆる団塊の世代の活力とその豊かな経験をまちづくりに活かせるような仕組みをつくること、地域で活動できる場づくり。そして、若い世代が、安心して子育てができ、三田で働いていける環境づくりが、これからの三田の発展のために必要です。

次の第4次総合計画では、少なくとも10年後の三田のビジョンを明らかにし、まちのブランドを高め、さらに魅力的なまちにしていきたいです。

※総合計画とは、地方自治体の地域づくりの基本に位置づけられる計画のこと。長期的な展望のもとで計画的な市の方針が定められます。三田市では、平成24年から新たな第4次総合計画の実施期間に入ります。

まちづくり

あなたが主役です

◎では、少子高齢化が進む中でまちづくりの手法はどのように考えていますか？

A 少子高齢化がすすみ、本格的

な人口減少社会がはじまるなかで、三田市だけが若い世代を増やしていくことは困難です。

今後、いわゆる団塊の世代が高齢化を迎えます。元気な高齢者のみなさんが三田のまちづくりの原動力になっていただくことを期待しています。

このような大きな市民力が三田の強みであり、まちづくりの担い手として、活躍の場所と機会を提供していくための施策を積極的に進めます。



効率的なごみ収集体制を確立すべき！

◎市のコスト削減のため、現在、市の職員が行っているクリーンセンター・環境センターの収集業務を民間委託することが必要です。今後の取組みは？

A 市の職員が直接収集を担当しているのは、収集効率の悪い郡部や旧市街地です。ニュータウン地区は民間に収集を委託して

います。

ごみ収集の維持・安定などから、収集業務のすべてを委託化するのには難しいと考えています。しかし、今後は、委託範囲を広げ、市全体の職員定数の見直しをすすめます。収集担当職員については、業務の転換なども含めて考えていきます。

また、現在、民間に委託しているごみ収集業務は、競争入札を行っています。今年度から入札実施に向けて公募作業をはじめ、来年度から一部で入札を試行していきます。

市民病院の未収金対策は？

◎今年度に市財政から約18億円を市民病院に支出することですが、市民病院の経営努力も必要です。未収金の収納向上対策について、どう考えていますか？

A 平成16年度から20年度までの過去5年間の未収金は、年間約300万円程度です。収納対策として、入退院コーナーで高額医療費制度、社会保障制度についての情報を説明したり、分割払いなどの相談を行ったりしています。

未収金は発生時点で督促し、次に電話や文書、面談、定期的な個別訪問による収納に取り組んでいます。また、悪質なケースは、小額訴訟などの法的な手続きをとるなど収納強化を図ります。

子どもたちの「まち」

涼しくなるね。学校教室

◎ 新年度予算で教室に扇風機がつくことになりました。しかし、小学校からではなく中学校から設置する計画と聞きます。その理由は？

▲ 小学校に比べて中学校は、授業日数が多いこと、さらに、夏休み中にも学力補充に取り組み学校が多くあることから、新年度は中学校から先行して扇風機を設置することにしました。来年、23年度については小学校の3分の2の教室に、24年度では小学校の残り3分の1の教室と幼稚園のすべての保育室に扇風機を設置していく予定です。

外国籍の子どもたちに学びやすい環境を

◎ 日本語に不慣れな外国籍の子どもには、学校においても支援が必要です。県では、すでにこうした取組みをしていますが、三田市でも取り組んでいますか？

▲ 現在、県が行う「子ども多文化共生サポーター」と、市が行う「外国人語学指導員」を必要のある学校に配置して、支援体制の充実に努力しています。支援内容は毎日の学習支援や、日本語指導、母国語で話すことによる生徒の心のケアなどです。平成21年度は、市内の中学生1名がこの制度を利用しました。



こどもたちは「赤ちゃん」

◎ 子育てに不安を感じる保護者が増えています。指導員が赤ちゃんの自宅に訪問したり、保護者同士の仲間づくりを支援したりするなど積極的な施策を実施すべきです。

▲ もっとも支援が必要な出産後すぐの時期や、その前後の育児のさまざまな場面で、不安や負担を感じている保護者が確実に専門機関の支援や相談に出会えるよう、子育て支援の情報のお知らせに力を入れることや、相談支援体制を充実していくことが必要です。

◎ ところで、新年度から生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭へ「赤ちゃんサポーター」が訪問します。

また、幼稚園や保育園が子育て相談や園庭開放をすることで、保護者同士の仲間づくりや子育て支援をする「地域子育てステーション事業」についても、実施する園を増やしていきます。

児童虐待防止の取組みは

◎ 子育て支援ネットワーク拠点での相談事業の具体的な内容と、家庭児童相談室の関係について伺います。

▲ 市の次世代育成支援計画の重点プロジェクトの一つである「子育て支援ネットワークの充実」を図るため、多世代交流館に「仮称」子育て情報ひろばを設置し、子育て情報の発信を行います。また、子育て全般にわたる相談コーナーも設置し、家庭児童相談室と連携しながら相談支援体制を充実します。



いきいきと安心して暮らせる「まち」

子どもたちの命を救うワクチン

◎ 乳幼児に多い細菌性髄膜炎(すいまく)・炎の予防に効果が高い「ワクチン」の接種費用を市が助成するのはいいですか？

▲ ワクチンは、乳幼児の命を守り、すこやかな育ちに役立つと考えています。三田市では、新年度からワクチン接種の費用を助成する予定です。

◎ すべての子どもたちが利用できるように保護者の所得制限は設けず、対象は満2か月以上5歳未満の乳幼児で、助成金額は接種費用の2分の1、上限額を4000円、助成回数は、接種を開始した月齢に応じて、4回までとします。

◎ この制度については、乳幼児健診の時や市広報紙などで広く市民のみなさんにお知らせし、乳幼児のすこやかな育ちを応援していきます。

※ヒブは、肺炎・敗血症などを引き起こすウイルス。なかでも重い感染症がヒブによる細菌性髄膜炎(すいまく)・炎です。

女性を救うワクチン

◎ 若い女性の発症率が増えている「子宮頸(けい)がん」に予防効果があるワクチンの接種費用を市が助成してはどうですか？

▲ 現在、市では子宮頸がん検診の無料クーポン券をお配りし、20、25、30、35、40歳の女性を中心に子宮頸がん検診の受診を積極的に呼びかけています。また、子宮頸がんは、ワクチン接種によって予防できる唯一のが

んと言われています。ワクチン接種費用助成制度については、他の自治体の費用助成の実施状況などを調査し、検討します。

スムーズな社会復帰へリハビリ環境の充実

◎ 思わぬ病気や事故で急性期の医療を受けた後、社会復帰するにはリハビリ環境が整っていることが必要です。しかし、三田市では十分ではありません。充実をどう考えますか？

▲ 病気や事故に見まわれた方が、住みなれた地域で生活が続けられることは大切です。病気や事故の急性期から回復期へ、適切なリハビリテーションを継続的に受けられることが必要です。

介護老人保健施設では、介護や機能訓練(リハビリ)などの必要な医療を行っています。また、居宅サービスとしては、理学療法士などが訪問し機能訓練を行う訪問リハビリテーションがあり、介護老人保健施設や病院においても通所リハビリテーションなどが行われています。

障害者控除の利用促進

◎ 要介護認定者やその家族へ「障害者控除」が適用できることをケアマネジャーを通じて、もっと周知してはどうでしょうか？

▲ 介護保険料納付確認書や市広報紙により、要介護認定者に対する所得税などの障害者控除の周知を行っています。今後、市ホームページや高齢福祉ガイドブックへの掲載を

検討します。また、普段から要介護認定者と関わる機会が多いケアマネジャーへは、研修会などで、制度の周知を図っていきます。

川本幸民生誕200年事業

◎ 今年は、三田出身の蘭学者「川本幸民」の生誕200年記念の年です。さまざまなイベントが企画されていますが、こうした事業を来年度以降も続けていきますか？

▲ 200年記念事業として、幸民まつりや幸民検定、幸民に学ぶ子ども理科実験などのイベントを市民活動団体とともに企画・実施していきます。

特に、川本幸民を育てた三田藩「九鬼氏」という歴史的な共通ルーツをもつ三重県鳥羽市と、行政間だけでなく、市民のみなさん同士の幅広い相互交流を進めます。

また、関西学院大学理工学部と連携して、「さんだ川本幸民記念賞」の創設を検討していきます。

※幕末・明治維新期の蘭学者。物理・化学に精通し、日本の科学の発展に貢献。マッチ、銀板写真なども試作しました。また、日本で初めてビールを醸造し、東京浅草で試飲会を開催しています。



川本幸民(1810 - 1871)

議会トピックス PICS



三田市のマスコット「キッピー」

議会を見て！聞いて！

議員はどんな調査をした？ 政務調査費の支出結果がご覧になります

4月15日に平成21年度の政務調査費の収支報告書と領収書が各会派から議長に提出され、ご覧いただけるようになりました。政務調査費とは議員が市政に関することを調査するために交付される費用です。三田市議会では年間1人あたり54万円が交付されています。閲覧には、事前の手続きは必要ありません。どなたでもご覧になることができます。年末年始・土日祝日を除く月曜から金曜日の午前9時から午後5時30分までの間に議会事務局でお願いします。

磁気誘導ループってなに？

ボランティアグループのご協力をいただき、6月定例会から「磁気誘導ループ」をお借りし、傍聴席に設置します。この機器は、電磁波の働きによって、マイクを通した音声を補聴器に送るはたらきをするものです。ただし、補聴器(人工内耳)をされているすべての方の「聞こえ」に有効とはかぎりませんので、ご了承ください。



委員会の活動

開かれた議会へ 議会改革検討委員会

現在24名の議員定数は、いったい何名が適当なのか。また、市民のみなさんとともに市政を考えることができる議会のあり方とは…。三田市議会の能力をさらに高めるために、8人の委員で構成する「議会改革検討委員会」を設置しました。4月から活発に議論しています。傍聴もできますので、ぜひおこしください。

委員長	松岡	信生
副委員長	三木	圭恵
委員	笠谷	圭司
	森本	政直
	田中	一良
	野上	和雄
	城谷	恵治
	今北	義明

議論してます まちづくり基本条例

週に1回のペースで、まちづくり(自治)基本条例の検討をすすめてきた「まちづくり基本条例検討特別委員会」。これまでの議論で、委員の間には疑問がふくらんでいました。そこで、神奈川県を中心にご活躍されている、金井恵里可先生(文教大学准教授)をお迎えして、アドバイスをいただきました。先生とは平成20年度に自治基本条例について講演をしていただいた以来、1年ぶりの再会です。活発に意見をかわし、疑問を解消することができました。



会派構成が変わりました

議員は、政策や政治信条ごとにグループをつくっています。それが「会派」です。会派・創世会が解散し、4月1日付で真正会と自由民主党の2つの会派が結成。また、4月20日付で新政みらいが3名となりました。

真正会	家代岡桂子・岡田 秀雄・北本 節代・関口 正人・森本 政直
公明党	平野 菅子・松岡 信生・藤原美津雄
自由民主党	前中 敏弘・酒井 一憲・笠谷 圭司
新政みらい	厚地 弘行・田中 一良・肥後 淳三
日本共産党	城谷 恵治・中田 初美・長谷川美樹
民主党三田	美藤 和広・野上 和雄・檜田 充
盟友会	今北 義明・福田 秀章
無会派	坂本 三郎
無会派	三木 圭恵

議事からのお知らせ

6月定例会の日程

次回の定例会は、次の日程で行う予定です。多くの皆様のお越しをお待ちしています。

- 6月7日 本会議第1日 市長の議案提案説明
- 6月9日 正午 請願書・陳情書しめくり
- 6月16日 本会議第2日 議員による質問
- 6月17日 本会議第3日 議員による質問
- 6月21日 常任委員会 議案の審査
- 6月25日 本会議第4日 議案の表決

本会議と常任委員会は、市役所本庁舎2階の議場・議事会議室で行います。

声の議会だよりを発行しています

さまざまな方法で、議会の活動を知っていただくため、「声の議会だより」を用意しています。

ご希望の方は、議会事務局までお問い合わせください。

「活用ください！」

第305回(3月) 定例会 議案の審議結果		議員数は24名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は23名です。(○…賛成 ×…反対)							
件名		会派							
市長提出議案		議決結果	創世会	新政みらい	公明党	共産党	民主党	盟友会	無会派
予算	平成22年度 一般会計予算/後期高齢者医療事業特別会計予算	可決 賛成20・反対3	○	○	○	×	○	○	○
	平成22年度 国民健康保険事業特別会計予算/農林水産事業特別会計予算/下水道事業特別会計補正予算(第2号)/老人保健医療事業特別会計予算/公営墓地整備事業特別会計予算/駐車場事業特別会計予算/介護保険事業特別会計予算/市民病院事業会計予算/水道事業会計予算 平成21年度 一般会計補正予算(第7号)/国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)/農林水産事業特別会計補正予算(第1号)/下水道事業特別会計補正予算(第2号)/老人保健医療事業特別会計補正予算(第3号)/公営墓地整備事業特別会計補正予算(第1号)/駐車場事業特別会計補正予算(第2号)/介護保険事業特別会計補正予算(第3号)/後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)/市民病院事業会計補正予算(第5号)/水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
条例	公民館条例等の一部を改正する条例/手数料条例の一部を改正する条例/附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例/国民健康保険税条例の一部を改正する条例/福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例/農林水産条例の一部を改正する条例/道路占用料徴収条例の一部を改正する条例/自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例/藍本駅前駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例/都市公園条例の一部を改正する条例/一般職の職員の給与に関する条例及び職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
その他	市道路線の廃止/市道路線の認定/平成22年度水稲共済事業無事戻し/平成22年度農林水産事業事務費賦課総額及び賦課単価/損害賠償の額の決定/売買代金等請求事件に係る訴訟上の和解	可決	○	○	○	○	○	○	○
	教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案		議決結果	創世会	新政みらい	公明党	共産党	民主党	盟友会	無会派
	平成22年度一般会計予算につき撤回のうえ編成替えを求める動議	否決 賛成3・反対20	×	×	×	○	×	×	×
	取り調べの可視化など刑事訴訟法の改正を求める意見書の提出	可決 賛成16・反対7	賛成3 反対4	賛成3 反対1	○	○	○	×	○
請願		議決結果	創世会	新政みらい	公明党	共産党	民主党	盟友会	無会派
	取り調べの可視化など刑事訴訟法の改正を要請する意見提出を求める請願書	採択 賛成16・反対7	賛成3 反対4	賛成3 反対1	○	○	○	×	○
陳情		三田市商工会への支援要望(都市環境)/兵庫県商工会への支援要望(都市環境)/記者クラブに関する陳情書(企画総務)/政党交付金の凍結及び国会請願に関する陳情書(企画総務)/校舎等耐震化の工事費及び現場の意識改革に関する陳情書(生活文教)/細菌性髄膜炎ワクチン(ヒブワクチン)の公費助成を求める陳情書(生活文教)/永住外国人住民の地方自治体参政権に関する陳情書(企画総務)							

